

令和7年度 自己点検評価報告書

《評価対象期間》

自：令和7年4月1日

至：令和8年3月31日

学校法人 都築学園
専門学校 第一自動車大学校

令和7年度 自己点検評価報告書

学校法人 都築学園 専門学校 第一自動車大学校は、令和7年度の自己点検評価を実施致しましたので、学校教育法施行規則第189条に則り「令和7年度自己点検・評価報告書」を公表致します。

本校は、教職員一同、教育の質の向上、法規適正な校務運営、透明性の確保等、より良い校務運営に取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【自己点検・評価責任者】

校長 江崎 久

【評価対象期間】

自：令和7年4月1日

至：令和8年3月31日

【作成日】

令和8年4月16日

【第一自動車大学校の概要】

1 教育理念目標

本校は平成元年創立で37年目を迎える歴史ある自動車整備士養成の学校である。

創立以来「個性を伸ばし、自信をつけさせ、世界に送りだしたい」を教育目標とする。

2 令和7年事業の概要

(1) 教育

ア 一級自動車メカニックコース

(ア) 令和9年の自動車整備士制度等の見直しに伴い、自動車の点検・整備・検査に係る専門的な知識及び技能、特に電子制御装置に係る内容として教科書に先駆けて自動運転に係る内容を実習させるとともに、各種の整備用診断器を用いて応用的な故障探求として車載エンジンにおける故障探求の実習により、究めて実務に近い技能水準を身につかせた。

(イ) 環境保全や安全管理に適應できる車の電子制御装置の発達やハイブリッドカーの普及に伴い総合的業務として、低電圧取扱者の資格の復習を兼ねて感電の危険性を考慮したハイブリッドバッテリーの脱着を実施する等深く充実した整備士を育成する事ができた。

(ウ) 最先端設備を揃え、高いレベルの技術として、学校でできる準備として一人で法定点検できるレベルまで引き上げ、インターンシップにおいて現地確認の機会を活用し、現

場の情報を収集しながら社会で活躍でき、お客様に分かりやすく情報提供ができるスキルを身につけさせることができた。

- (エ) リサイクルを考慮した整備手法や、総合的な故障診断から整備計画の作成手法を習得させた。
- (オ) 国家試験対策集中授業を実施。成績の伸び悩む学生へは個別に対応した結果、一級小型自動車整備士試験の学科合格率 100%となった。

イ カードクター二級整備士コース

- (ア) 令和 9 年の自動車整備士制度等の見直しに伴い、自動車全体に関する一般常識の知識及び技能を有し、単独で分解整備作業が行える水準まで身につけさせることができた。
- (イ) 新教育カリキュラム制度導入（サイクル型）で、学生の出席率向上と学習意欲アップを図るとともにきめ細やかな教育を実践した。
- (ウ) 少人数制及び習熟度別クラスを編成し基礎を理解させ、自動車社会の多様なニーズに適應できるレベルの専門教育や失敗を恐れず、挑戦する勇気をもった人間性の育成を行う事ができた。
- (エ) 足廻りの分解整備から、エンジンに関わる分解修理等の実習に力を入れ、基本的な作業の反復練習を行いながら、就職後即戦力として働けるよう技術力向上に努めることができた。
- (オ) 国家試験対策授業は伸び悩む学生へは個別対応など工夫して行い、二級ガソリン自動車整備士合格率 100%、二級ジーゼル自動車整備士合格率 100%となった。

ウ カードクター留学生ベーシックコース

- (ア) 日本語教育の強化を図り、N2 もしくは N3 に合格できるように授業の工夫と教職員のスキルアップに取り組んだが、残念ながら日本語能力試験（JLPT）取得に繋がらなかったため、結果を分析してカリキュラムに反映させた。
- (イ) 地域貢献として、公民館において小学生や老人クラブの方を対象に、母国の PR をするとともに、日本の文化にふれさせることができた。また、積極的な意見交換にも取り組みコミュニケーション能力を身につけさせることができた。
- (ウ) カードクター二級整備士コースの教育への円滑な導入を図るため、外部の自動車教習所と連携した合宿により普通自動車運転免許の取得に臨み、100%取得させることができた。

(2) 学生支援（進路指導含む）

ア 早期に就職にむけての意識改革を図るため、ディーラーと連携し、「インターンシップ」を 1 年生の 12 月に実施し、希望会社への就職活動をサポートした。整備士としての一日の点検作業に慣れさせることができた。

イ 履歴書作成・面接・企業へのアプローチ方法等について、外部講師や担任による個人指導を随時行い、卒業生からのバックアップ等のフォロー体制もとりながら 12 年連続就職率 100%を達成した。

ウ 社会人としてのスキルを身につけさせるため、月 1 回礼法指導を実施し、規律正しい挨拶を身につけさせることができた。

エ 卒業生のいる企業へ出向き、業務見学や面談により各種情報収集を実施した。

(3) 募集・広報

ア SNS やホームページ等の電子媒体を積極的に活用し、高校訪問を含む各種広報手段の成果等のデータを継続的に収集・分析し、効率的・効果的な広報に努めた。

特に、Z世代を意識した SNS の制作、発信を意識し、早期かつタイムリーに広報した。結果 SNS 情報発信から女子学生のオープンキャンパス参加者が昨年と同数あり入学者 5 名に繋がった。

イ 中学・高校の体験学習を募集し積極的に受け入れるとともに、オープンキャンパスやオンライン学校説明会を活用し高大連携教育の深化・拡大に努めるとともに、産学連携を積極的に推進し、若者が興味を引く教育内容・要領に留意した。

ウ 通学圏内の JR 等公共交通機関沿線の高校へ効率的・効果的な募集広報に努めた。

エ 在学中の留学生に対し、学校施策やオープンキャンパス等の情報を積極的に提供し、ヒューマンネットワークや友達紹介によるオープンキャンパス参加等の募集広報の環境を整備し、日本語学校訪問、オープンキャンパス等の募集広報の終始を通じ、日本語能力が N2 以上で、自動車整備に関心が高く、学習意欲も高い学生の確保に留意した。

オ オープンキャンパスで各ディーラーとコラボ企画を計画した。現在、最新装備を備えている若者に人気の車を本校に持ってきていただき、試乗体験などのイベントを通じて自動車整備士に興味を持たせることができた。

カ 募集の成果

令和 8 年入学者数 129 名（前年比-5 名）

(4) 学校評価

ア 学内外に高い評価を得ている就職率 12 年連続 100%及び一級及び二級自動車整備士国家試験合格 7 年連続 100%を目標にして良好な点を深化させた。

また、自動車整備士制度改革への対応を推進した。

イ インターンシップ等による教育活動の充実を図ることができた。

ウ 入学時から、日本人については成績の悪い者には担任による保護者との連携などきめ細やかな面談に努め、保護者を含めた将来設計を描かせ、新入学生の退学者は 6 名に留めることができた。

留学生については学業意欲の低下（日本語力）、経済的問題で分割支払等による対応はできていたが、保護者希望での進路変更で退学者 4 名となった。

(5) 施設・設備

各種点検、整備を行うとともに、経年劣化による老朽対策として、外壁剥離に伴う部分修繕を実施し、教育環境の維持管理に努めることができた。次年度も計画的に老朽化対策を推進していく。

【自己点検評価の目的】

文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」にそって、本校の教職員・事務職員全員に実施し、自己の客観性・透明性を高め、学校運営の取り組み方、実施方法について改善を図る。

【評価の要領】

学生へのアンケート調査を踏まえ、教員及び事務職員が評価項目に従い、3 段階評価により自己点検・評価を行い、総合的に評価分析し、学校としての今後の課題と改善策を明らかにする。

【評価項目】

1 教育理念・目的・目標

(1) 教育理念、目的及び目標の設定等

- 2 教育課程、教育の実施、学修成果
 - (1) 教育課程の編成と授業科目
 - (2) 教育の実施
 - (3) 単位・卒業認定
 - (4) 学修成果目標の達成状況
- 3 学生の受入れ、学生支援
 - (1) 学生募集および入学者の選抜、収容定員の管理
 - (2) 自主的な学習の促進に対する支援
 - (3) 多様な学生に対する支援
 - (4) 学生生活の関する支援
- 4 教育実施組織・教員
 - (1) 教員の配置、募集、採用
 - (2) 教員の組織編制等
 - (3) 教員の資質の向上
- 5 教育環境
 - (1) 教育環境の整備
 - (2) 安全対策、防災組織
 - (3) 施設・設備等の点検、改善等
- 6 教育活動の基盤と改善・向上の取組
 - (1) 中期事業計画と財務基盤
 - (2) 学校運営
 - (3) 学校評価の実施と改善活動
 - (4) 社会からの理解と情報の公表

【評価表記】

- 3・・・基準を満たしており、特筆すべき取り組みを行っている。
- 2・・・概ね基準を満たしている。
- 1・・・基準を満たしておらず改善が必要

【評価の結果】

1 教育理念・目的・目標

教育基本法及び学校教育法に従い、本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げ、その方針に則り各自の能力及び特性に応じ自動車整備の要求に即応した即戦力として活躍できる一級自動車整備士、二級自動車整備士を育成・輩出し、我が国の自動車産業の技術向上に最大限寄与している。

また、自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車整備士コースを開設して自動車整備業界のニーズに応えた教育体制を整えるとともに、日本人と外国人留学生を幅広く受け入れ、共に切磋琢磨するグローバルな環境を活かした職業人の養成を行い、国際社会に貢献する学校を目指している。

(1) 教育理念、目的及び目標の設定等

1-1：教育理念を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

教育基本法及び学校教育法に従い、学校法人都築学園創設者の教育理念である「個性の進展」を踏まえ、本校の教育指針を定め、各教育課程における目的及び目標に基づき、各自の能力及び特性に応じ、自動車整備業界の要求に即応した自動車整備士を養成するという人材像を明確にして教育に取り組んでいる。

2 教育課程、教育の実施、学修成果

一級自動車メカニックコース（カードクター一級整備士コース）、カードクター二級整備士コース、カードクター留学生ベーシックコースそれぞれ明確な目標を設定し、結節時の評価判定と個々に応じたきめ細やかな補備教育の実施により段階的に実力向上を図ることができた。

国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等により、分かる教育、分からせる教育をモットーに、留学生を含む学生一人一人の個性を活かし、放課後等を活用した学力に合ったきめ細やかな教育体制の中で基本に力を入れ、一級・二級自動車整備士合格率 100% 及び就職率 100% 達成に向けて全教職員一丸となり取り組んでいる。また、自動車に関連する各種資格取得について積極的に奨励している。

令和 7 年度国家試験においては、一級自動車整備士 100%（2 名中 2 名合格）、二級自動車整備士ガソリン 100%・ジーゼル 100%であった。

(1) 教育課程の編成と授業科目

2-1：学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

本校の教育指針に基づく目的・目標及び養成する人材像を実現するため、教務課を主体として適切な教育課程区分により、各カリキュラム（授業時間割）を体系的に整理し、系統性・段階性に配慮した授業科目の配置に取り組んでいる。また、人材像をより具現化するためにビジネスマナー講座や模擬面接等の授業科目も取り込んでいる。

しかしながら、自動車整備士資格新制度への対応がやや不十分な面もみられることから、JAMCA 会員校を参考に早急なみなおし・修正を実施していく。

(2) 教育の実施

2-2：授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

授業科目内容に応じ、講義、実習においては、教育内容に合致した適切な教材を用いて教育を実施し、学科で行った内容をすぐに実習で復習するサイクル型授業を実践している。

学則に定められた成績評価基準に基づき、成績評定会議及び卒業進級認定会議等を実施して適切な成績評価を行っている。

しかしながら、授業で使用する教材は、経年劣化による損傷・不具合も生起していることから、更新についても検討する必要がある。

(3) 単位・卒業認定

2-3：学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースご	自己評価：2
---	--------

とに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか。	
---------------------------	--

(具体的な取り組みや課題の改善策)

本校の教育目的・目標及び養成する人材像を具現するために必要な卒業認定として、一級整備士又(小型)は二級整備士(ガソリン・ジーゼル)の資格、普通自動車第一種運転免許や留学生には日本語能力(N2又はN3)等を各教育課程ごとに明確に設定し、卒業進級認定会議を実施して、卒業認定の判断を行っている。

(4) 学修成果目標の達成状況

2-4-1: 卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の習得含む)についての目標を定め、その目標が達成できているか。	自己評価: 2
---	---------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

各教育課程ごとに設定した卒業認定基準に基づき、職業能力や資質能力について目標を明確に定めて目標達成に向け取り組んでいる。

自動車整備士資格として一級整備士100%、二級整備士100%(ガソリン・ジーゼル)取得を、また、普通自動車第一種運転免許100%取得を達成している。さらに、留学生には日本語能力(N2又はN3)等の取得を目標として定め達成している。

2-4-2: 学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか。	自己評価: 2
---	---------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

就職担当及び担任が主体となり、学生が希望する進路の実現に向けて、ビジネス教育、企業説明会、インターンシップ等を計画的に実施して、就職率は12年連続100%を達成中である。

しかしながら、第一希望どおりに目標を達成できていない学生も複数名学生も存在し、担任のみでクラス全員をサポートするには限界があることから、就職担当を交えた個別目標設定要領と就職活動に直結するインターンシップの時期の見直し等の検討が必要である。

3 学生の受入れ、学生支援

就職支援策については、各種教育を通じて、入学時から学生の職業意識の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当教員によるきめ細やかな就職・進路指導によりそのほとんどの学生が希望通りの会社に就職ができている。就職に関しては、日本人及び留学生ともに12年連続100%就職を達成することができており、着実に就職指導の成果が上がっている。

経済的な支援に関しては、日本人学生に対しては、学校独自の特待生制度を保持するとともに、担当事務職員により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を可能な限り有効に活用できるように学生、保護者に対して入学前から説明会を計画的に実施してきめ細やかな支援体制を構築し、懇切丁寧な対応に努めている。また、留学生に対しては、学校独自の特別奨学金制度を保持するとともに、留学生受入れ促進プログラムを活用できるよう対応に努めている。

令和7年度は日本人5名、留学生4名の退学者を出したことから、その要因及び環境を分析して次年度の退学率軽減策に反映する。この際、現在実施している担任制及び自己発見検査等を活用した学生の心情等の把握は継続して実施し、退学率軽減策及び学生の現況を教職員間で適宜情報共有することにより組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っていく。

(1) 学生募集および入学者の選抜、収容定員の管理

3-1-1：入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定しているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

学則及び入学試験大綱に基づき、入学者の受け入れ方針、入学選考基準・方法を明確に定め、募集要項及びオープンキャンパス等を通じて入学希望者に対して説明を実施し、各入学試験における入試判定会議において入学者の選考を適正かつ公正に行い、可否を決定している。

3-1-2：学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか。	自己評価：2
----------------------------------	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

学則に基づく入学定員に応じて、適正に学生の受入れを実施している。

(2) 自主的な学習の促進に対する支援

3-2：学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援にとりくんでいるか。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

学生の学力や学習状況については、入学試験結果及び各単元テスト・実習テストにより把握するとともに、各授業において必要な補習授業を行う等必要な学習支援を実施している。

また、学生の円滑な学習に向け、本校で実践しているサイクル型授業の推進により学習成果の向上に取り組み、学生の自発的な補習等に対しては積極的な支援を行っている。

しかしながら、入学前教育は行っておらず、入学後に学力で遅れを取る学生もいることから、入学前教育の実施・要領について検討する必要がある。

(3) 多様な学生に対する支援

3-3：適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

障害のある学生の情報については、職員会議等の教職員間で共有し、個人に合わせた必要な配慮を行っている。

留学生に対しては、日本語能力向上を主とした教育課程を設置して、日本で就職に必要な日本語能力を身に付けさせるとともに、ビジネスマナー教育や模擬面接等の実施により支援を行っている。また、プライベートに関する様々なトラブルや悩みについてもサポートしている。

(4) 学生生活の関する支援

3-4-1：カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか。	自己評価：1
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

学生の相談については、ホームルーム後及び放課後等の時間で、周囲の目を気にすることが無いように応接室を主として対応している。相談内容に応じて担任又は事務職員が対応している。

しかしながら、カウンセラーは学校として配置しておらず、家庭環境等の相談についてはアドバイスに窮する場面があったことから、カウンセラーの配置について検討が必要である。また、専用の相談室も建物の関係上設置できないことから、応接室の利用について統制等が必要である。

3-4-2：留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対しては、担任を主として本人及び保護者とよく話し、問題解決策を検討し、学習面であれば放課後等に補習を行い、出席状況であれば保護者との連絡・報告を適宜行う等対応している。

また、個々の学生の出席日数や学習成果の進捗状況を教職員間で共有し、早期からの指導、相談受け等により留年、退学防止に努めている。

3-4-3：学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

学生の心身の健康管理については、4月に全学生の胸部レントゲン撮影、10月に1・3年生の就職のための健康診断を行うとともに、日々の健康管理については、ホームルームにいて担任による把握を実施し、必要に応じ教職員に情報共有している。

しかしながら、学校保健安全法の基づく学校保健計画は本校として策定しておらず、速やかに整備する必要がある。

3-4-4：学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

募集要項、ホームページに掲載して広く周知するとともに、本校入学生の入試区分に応じて入学金、授業料等の減免を、入試結果で学費の一部免除を適切に行っている。

また、日本学生支援機構の奨学金等については、入学前から説明を行い、入学後計画的に説明会を実施する等支援体制を整備・運用している。

3-4-5：学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

学生のキャリア支援、就職支援として、担任を中心として履歴書記入や面接の指導を適時実施するとともに、外部講師を招致してのビジネスマナー講座、学内でのビジネスマナー教育の実施、インターンシップや出前授業、就職関連掲示板への随時最新の求人情報の公開等、各支援体制を整備して確実に運用し、内定率100%を継続している。

しかしながら、担任と就職担当に依存する部分が大であり、支援体制・要領を含めた再検討が必要である。

4 教育実施組織・教員

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、国土交通省の自動車整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準を遵守するとともに、国土交通省九州運輸局による立ち入り検査を受検する等、合規適正に常勤・非常勤により教育実施組織を編成して教育に取り組み学校運営を行っている。

また、教育実施組織を編制するため、あらゆる手段を講じて教員の確保に努めている。

(1) 教員の配置、募集、採用

4-1：教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用しているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

本校の定める資格・要件を備えた教員のみを採用となるため、ハローワークやホームページ等で公募を行い、教員の確保に努めている。

しかしながら、公募への応募数が少なく、現在の資格・要件を備えた採用基準においては教員の確保が極めて厳しい状況であることから、採用基準の見直しについて学園本部と早期に調整することが必要である。

(2) 教員の組織編制等

4-2-1：学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規定等で定めているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

毎年度策定する校務分掌に基づき、必要な教職員を組織化して、業務分担、責任体制を明確にして教育に取り組んでいる。

しかしながら、教員数に限りがあるため、業務過多となる教員も多くあることから、前項4-1のとおり教員の確保が早急に必要である。

4-2-2：教員間での連携、協力体制を構築しているか。	自己評価：2
-----------------------------	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

日々の朝礼・終礼、月1回の職員会議、必要の都度実施される臨時の会議等において、様々な情報共有を図り、限られた教職員で最大限の協力体制を構築している。

(3) 教員の資質の向上

4-3：学校の教育活動の改善、工夫を行うFD (Faculty Development) などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

授業の理解度の向上につながる創意工夫や二級整備士（総合）への変更に対応するシラバスの整備等への取り組みはできていた。

しかしながら、教職員の時間的余裕が限られており、充実した支援体制の構築には至っておらず、教員の自助努力に頼る面もあり、また、教育の質の向上は各教員の資質の依存する部分が多くあることから、改善が必要である。

5 教育環境

本校は、福岡市博多区の博多駅の近傍に位置しており通学に適した環境であり、本校近傍には各社ディーラー等自動車関連の企業が多数集中する地域となっていることから、通学時等において自動車整備士としての職業意識の涵養や修学意欲の向上に適した恵まれた教育環境にある。

また、学生の居住する地域の近傍にも、複数のディーラーや自動車整備工場が数多く存在することから、学生の希望に合ったインターンシップ先で研修しやすい環境である。

学校の施設・設備については、国土交通省が定める一級自動車整備士及び二級自動車整備士養成施設として必要な基準を十分満たしており、施設の消防設備点検や車両用エレベーター等の保守点検等も国が定める法令に基づき定期的に受検しており、合規適正に維持・管理している。

しかしながら、施設・設備においては、経年劣化及び老朽化による不具合も逐次発生していることから、適時の修繕等を計画的に実施していくことが必要である。

(1) 教育環境の整備

5-1：教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えているか。	自己評価：2
--------------------------------------	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

国土交通省が定める一級自動車整備士及び二級自動車整備士養成施設として必要な基準となる施設・設備、機械器具等を備えている。

しかしながら、施設においては経年劣化による不具合も逐次発生しており、また、実習車及び教材等においては老朽化により、教育に対応できていない教材もあることから、施設修繕計画及び教材更新計画を策定し、逐次予算を確保しつつ対応していく。

(2) 安全対策、防災組織

5-2-1：学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

火災発生時等の緊急避難先を避難訓練により年1回全学生・教職員にその要領を周知している。

しかしながら、本校として学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定しておらず、安全対策は教育等における教職員に一任する面があることから、速やかな策定が必要である。

5-2-2：火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営しているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

年1回、消防避難訓練を実施して、初期消火訓練と避難訓練を実施して、教職員及び全学生に対応要領を周知・徹底し適切に運営している。

しかしながら、防災に関しては人為的災害の火災のみ策定しており、自然災害（地震、津波、台風、豪雨、洪水等）と人為的災害（事故、テロ等）については、未整備であることから、逐次組織体制を計画していく必要がある。

(3) 施設・設備等の点検、改善等

5-3-1：施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っているか。	自己評価：2
---------------------------------------	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

日直による施設・設備等の日日点検、法令に基づく業者による電気設備点検、消防設備点検、車両用エレベーター点検等の定期点検を計画的に実施し、不備事項については必要な補修等を行っている。

5-3-2：施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施しているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

機器備品である空調機器のみ予算を組み更新計画を策定している。

しかしながら、施設の改修、設備の更新等の計画が定められておらず、不具合が発生した場合は、必要最低限の箇所のみ補修等となっており、適切に実施できているといえない状況である。施設・設備の老朽化による更新等計画を早急に策定する必要がある。

6 教育活動の基盤と改善・向上の取組

学校法人都築学園全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の教育活動の基盤は安定しているものと考えている。

また、ホームページやパンフレット等において、国家資格試験合格状況や就職状況等の教育成果を正確・確実に伝えるとともに、年度末に自己点検・評価を行い、問題点を明確にしてその改善の取り組みについて情報公開している。

(1) 中期事業計画と財務基盤

6-1-1：当該専門学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

毎年度策定する事業計画により、教育目的及び教育目標として国家試験合格と就職に取り組んでいる。

しかしながら、本校には明確な中長期的計画が策定されていないため、その策定について検討する必要がある。

6-1-2：当該専門学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

本校として学生募集に力を入れ学生数の確保に努め、安定した財務基盤を確保して、安定した教育活動を遂行している。

(2) 学校運営

6-2：学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか（職業教育に関するマネジメント（教育の規格・設計・運営等）における責任体制を含む）。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

毎年度策定する校務分掌により、学校運営の組織体制を整備し、適切に運営している。

しかしながら、職業教育については、就職先からのニーズに応えられるインターンシップを行っているが、就職担当が対応するだけであり、マネジメントにおける責任体制を含めて未整備である。

(3) 学校評価の実施と改善活動

6-3-1：学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専門学校の運営やその改善・向上において活用しているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

毎年度、学校関係者評価会議を実施して、自動車関連企業等、地域社会等からの各種意見をいただき、本校での学生教育や教育基盤の改善や工場に逐次反映している。

6-3-2：学校評価を実施し結果及び改善状況について情報を公表しているか。	自己評価：2
---------------------------------------	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

毎年度、学校関係者評価会議を実施して、会議参加者の各種意見をいただき、学校関係者評価会議報告書を作成して、本校ホームページに情報を公表している。

6-3-3：学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか。	自己評価：2
--	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

学校関係者評価会議報告書に基づき、改善事項等を明確にして、次年度以降の学生教育や教育基盤の改善に反映できるよう取り組んでいる。

しかしながら、出来ていない面もあることから、反映要領についての深化が必要である。

(4) 社会からの理解と情報の公表

6-4-1：当該専門学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情	自己評価：2
--------------------------------------	--------

報を積極的に公表しているか。	
----------------	--

(具体的な取り組みや課題の改善策)

本校の当該専門学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報として、国家試験合格率及び就職率をホームページ上に公表するとともに、パンフレットにも掲載する等積極的に公表している。

6-4-2：教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取り組んでいるか。	自己評価：2
---	--------

(具体的な取り組みや課題の改善策)

本校の教育目的・目標の達成状況や活動状況として、国家試験合格率や就職率等を積極的にホームページに公表するとともに、エントランスにも大きく掲示する等理解を得るよう取り組んでいる。